

令和 6 年度
事業報告及び附属明細書

令和 6 年 4 月 1 日から
令和 7 年 3 月 31 日まで

公益社団法人 国際農林業協働協会

令和 6 年度事業報告

組 織 運 営

I 会議の開催

1. 第 1 回理事会

期 日 令和 6 年 6 月 10 日（月）

場 所 ホテルアジア会館 E 会議室

議 事

第 1 号議案 令和 5 年度事業報告及び附属明細書の承認について

第 2 号議案 令和 5 年度計算書類(貸借対照表及び正味財産増減計算書)及び同附属明細書、財産目録並びにキャッシュ・フロー計算書の承認について

第 3 号議案 公募による役員候補者名簿の作成について

第 4 号議案 理事(補欠)候補者について

第 5 号議案 常勤役員の退職手当の支給率について

第 6 号議案 定時会員総会の招集について

報告事項

会長及び専務理事の職務執行状況の報告

2. 定時会員総会

期 日 令和 6 年 6 月 25 日（火）

場 所 ホテルアジア会館 C 会議室

議 事

第 1 号議案 令和 5 年度事業報告及び附属明細書の報告について

第 2 号議案 令和 5 年度計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及び同附属明細書、財産目録並びにキャッシュ・フロー計算書の報告について

第 3 号議案 令和 6 年度会費及び賛助会費の決定について

第 4 号議案 理事（補欠）の選任について

第 5 号議案 定款の変更について

第 6 号議案 令和 6 年度事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みの報告について

3. 第2回理事会

期 日 令和6年6月25日(火)

場 所 ホテルアジア会館 C 会議室

議 事

第1号議案 専務理事(業務執行理事)の選定について

第2号議案 コンプライアンス担当理事の選任について

4. 第3回理事会

期 日 令和7年3月26日(水)

場 所 ホテルアジア会館 E 会議室

議 事

第1号議案 令和7年度事業計画書、収支予算書、資金調達及び設備投資の見込みについて

第2号議案 令和7年度会費及び賛助会費の決定について

第3号議案 育児・介護休業等規程の改正について

第4号議案 職員給与規程の改正について

第5号議案 常勤役員候補者の公募について

報告事項

会長及び専務理事の職務執行状況の報告

II 役員の異動

1. 理事

辞任 令和6年6月25日(火) 内海和彦、太平正三、藤岡典夫

就任 令和6年6月25日(火) 熊谷 徹、高瀬美和子、西山明彦

2. 監事

異動なし

III 会員の異動

1. 正会員

異動なし

2. 法人賛助会員

異動なし

IV 監査等

1. 令和 6 年 5 月 28 日・29 日 会計監査人による令和 5 年度財務諸表等の監査
2. 令和 6 年 6 月 6 日 監事による令和 5 年度決算及び業務の監査
3. 令和 6 年 10 月 25 日 会計監査人による期中監査

事業内容

I 政府所有米の貸付及び返還事業(公益目的事業 1)

政府の決定に基づき、大規模かつ国際的な緊急食糧支援ニーズに円滑に対処するための緊急食糧支援に係る事業を実施し、インドネシアから 32.6 億円、WFP から 10.2 億円の償還を受け、国庫に 110.9 億円を返納した。そのための差額補填額は 68.1 億円となり、国庫補助金でこれに充てた。

II 調査・統計・資料収集事業(公益目的事業 2)

1. 政府関係機関等受託事業

企画競争等を通じて、下記の事業を単独又は民間企業と共同して、独立行政法人国際協力機構（JICA）等から受託し、実施した。

注：（）は委託元

（1）ガーナ国稲作生産性向上プロジェクト（コメ種子生産）（JICA）

優良な保証種子（CS）を使用したコメの生産性と質の向上を図ることを目的とする。上位種子の生産過程における問題点が明らかになったので、その改善のために、圃場実習及びセミナー（基礎編と応用編）を開くとともに、作成した「種子生産マニュアル」の承認を得た。

（2）タンザニア国コメ振興能力強化プロジェクト（マーケティング）（同上）

前フェーズまでに実施された稲作農家向けマーケティング課題別研修のモニタリング実施と研修効果の分析を C/P が行うのを支援し、本フェーズで実施する研修内容改訂の準備を行った。

（3）ネパール国種子生産・供給・品質管理システム強化プロジェクト(同上)

稲種子の生産・供給・品質管理システム強化に必要な技術支援等の事業で、第 2 期（令和 6 年 4 月～7 年 3 月）ワークプランを策定し、先方政府機関との協議を経て承認を得た。また、同プランに沿って以下の活動を行った。

- ・ 種子生産・品質管理技術、国産優良品種の展示圃場設置（14 か所）及び啓発活動（オンサイト研修、フィールドディ）の実施。
- ・ 「種子（Improved Seed）」生産における圃場審査員育成研修及び審査状況のモニタリング。
- ・ 種子認証ガイドラインに沿った種子倉庫検査の実施を支援。

- ・供与機材の選定（選別機、種子水分計、種子検査ラボ機材）。供与した機材の維持管理研修の実施。
- ・「イネ種子生産・認証マニュアル（案）」作成に着手した。来年度最終化を目指す。

〔日本工営（株）及び（株）VSOC との JV〕

（４）モンゴル国市場志向型の養蜂振興プロジェクト（草の根技術協力事業フェーズ 3）（同上）

養蜂を同国の地方産業として確立するため、養蜂家の市場対応力を高め、ハチミツの販売拡大を目指す事業を令和 7 年 1 月に開始した。令和 6 年度は、対象地域において事業に関する説明会を開催し、販売活動に参加する養蜂組織を募集した。また、関係機関が参加するアドバイザーグループメンバーを確定した。

（５）事業評価事務支援業務（同上）

JICA 本部内で、事業評価業務に係る各種会議運営、資料作成、情報の収集・加工・分析等の業務を行った。

（６）JRA 畜産振興事業「次世代の養蜂人材育成のための研修事業」（JRA）

養蜂産業を支える次世代の人材育成のための高校生向けの国内・海外研修事業で、全国 14 校の高校生が参加した。4 人の専門家による座学、モンゴルでの海外研修、国内 13 ヲ所の養蜂家・企業での養蜂家訪問研修を実施し、研修成果を取りまとめて成果発表会を実施した。

（７）FAO（国連食糧農業機関）受託事業（FAO 駐日連絡事務所）

FAO 関連出版物『世界の食料安全保障と栄養の現状』の翻訳を行い、刊行した。

（８）カンボジア国トンレサップ湖西部水田における広域的水田水管理システムの確立による温室効果ガス排出削減技術の開発と社会実装（国際農林水産業研究センター（JIRCAS））

科学技術振興機構（JST）の地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム（SATREPS）の一環として行われている同事業において、カンボジアの研究対象の灌漑地区に係るプルサット川流域の既存の水文観測施設を調査し、新たに導入すべき水文観測用の ICT 機材の設置場所、数量、機材の種類等を提案した。

2. その他受託事業関係

独立行政法人等から業務を受託した民間企業等から委託を受け、次の事業を実施した。

注：（）は委託元

- (1) かんがい排水情報基盤システム構築支援業務、包括的農村振興モデル検討委託事業、アジアモンスーン地域の農業農村開発を通じた気候変動対策推進事業（低・中所得国型）、日・ASEAN 統合基金（JAIF）事業「Efficiency Enhancement of Regional Irrigation Water Management in Gravity Irrigation System」（（一社）海外農業開発コンサルティング協会）

「情報基盤システム」業務では、タイ、ベトナムを対象に、低電力広域通信（LPWA）による水管理用 ICT 機材を導入し、域内の ICT 機材による水管理用データを統合表示するシステムを開発した。「包括的農村振興モデル」事業では、カンボジアの 3 タイプのモデル地区において本邦企業が有する農村振興技術を試験的に導入する技術協力プロジェクトを提案した。「気候変動対策」調査では、ベトナムにおいて水田からの温室効果ガス排出削減に係る水管理技術の試験圃場を選定し、水位センサ、フィールドカメラ等の ICT 機材を設置し、ICT データを表示するシステムを開発した。「JAIF」事業では、ベトナムにおいて ICT 水管理に係る現地研修、ASEAN 加盟 9 カ国の参加による ICT 水管理等に係る ASEAN セミナーの開催、報告書の作成等を実施した。

- (2) ベトナム国北部地域における安全作物バリューチェーン強化プロジェクト（日本工営（株））

ベトナム国の安全作物 FVC 強化を目的として、7 つの対象省普及局を通じて対象農協へのベトナム GAP 強化、経営能力の強化並びに安全作物生産の強化を指導するプロジェクトである。

太陽熱土壌消毒法並びに堆肥作成法に関するテキストを完成した。
C/P である全国農業普及センターによって製本され、関係部署に配布された。

- (3) ラオス国フードバリューチェーン強化プロジェクト（日本工営（株））

ラオス政府が FVC 強化を通じた商業的農業強化に関するマスタープランを策定することの支援を目的とするプロジェクトである。

各種農産物生産における問題点に対する対策案を検討するためのパ

イロットプロジェクトを実施し、それらの結果を取りまとめた。

3. 自主事業関係

(1) 学術情報誌『国際農林業協力』の発行（年4回）

国際農林業協力、世界の食料問題及び途上国の農林業に関する論文・記事を掲載した学術情報誌を発行した。(Vol.47 No.1~ No.4)。

(2) 「JAICAF Newsletter」の発信（年4回）

穀物需給等の最近の世界の農業・食料をめぐる動向、当協会の活動報告、FAOの動き等の情報を印刷物およびWebにより提供した(第17号~第20号)。

(3) FAO 寄託図書館の運営等

FAO 本部が web 上で提供している資料・統計 (FAOSTAT ほか) のレファレンスサービス、オンライン講習会等を中心に運営した。

Ⅲ 飢餓撲滅のためのキャンペーン事業(公益目的事業3)

開発途上国の小規模農家が農業資機材を購入する際の補助や国際機関、NGO 等が国内で実施する飢餓・食料問題の啓発活動等に充てるための「Food for All 募金」を受け付けた。(期末残高 259 千円)。

令和 6 年度事業報告附属明細書

令和 6 年度事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第 34 条第 3 項に規定する附属明細書「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しないので、作成しない。

令和 7 年 6 月

公益社団法人 国際農林業協働協会